

大学院経済学研究科
2011年度第2期 修士課程一般入学試験問題 (経済学)

訂正箇所

2.

2-A.

純輸出関数の下に、

政府支出関数： $G = G_0(const.)$

を挿入する。

大学院経済学研究科

大学院経済学研究科

2011 年度・第 2 期 修士課程一般入学試験問題

(経済学)

解答上の注意事項

1. 問題 1～4 の 4 問の中から、計 2 問を解答すること。ただし、経済史研究領域志望者以外の者は、問題 1～2 より少なくとも 1 問以上選択して解答しなければならない。
2. 問題ごとに別々の解答用紙を使用すること。
3. 最初に必ず問題の番号を記入してから解答すること。
4. 日本文で記すこと。
5. ペンまたはボールペンで記すこと。
6. 訂正は誤りを二本線で消し、修正液を使用しないこと。
7. 試験時間 90 分

1. 次のA, Bのうちいずれかを選択して答えよ。

1-A. 2人の消費者と2財(x, y)とからなる、純粋交換経済を仮定する。第*i*消費者の効用関数(u_i)は以下のように示される。

$$u_1 = \min(3x_1, y_1)$$

$$u_2 = \min\left(\frac{9}{8}x_2, 3y_2\right)$$

ただし、 x_i, y_i は第*i*消費者のx財、y財の消費量を示す。また、消費者の初期賦存量 ω_i は次のように与えられている。

$$\omega_1 = (9, 0), \quad \omega_2 = (0, 6)$$

ただし、各々の右辺第1要素は財xの初期賦存量、第2要素は財yの初期賦存量を示す。また、財xと財yの価格は p_1, p_2 で与えられている。

(問1) $u_1 = u_2 = 1$ となる時、各消費者の無差別曲線の式をそれぞれ求めなさい。

(問2) 各消費者の所得—消費曲線の式をそれぞれ求めなさい。

(問3) $P=(3, 1), Q=(3, 5), R=(1, 3)$ のそれぞれの点は、パレート効率的な点であるか、また市場均衡点であるかを、エッジワース・ボックス図を用いて、理由を述べつつ答えなさい。

1-B. ある企業の生産関数が、次のような形をしているとする。

$$Y=L^{\alpha}K^{1-\alpha}$$

ただし、 Y は生産物、 L は労働、 K は資本であり、生産物価格を p 、賃金を w 、資本のレンタル料を r とする。完全競争を仮定しよう。次の質問に答えなさい。

- (問 1) 以上の情報から生産費用を定義しなさい。
- (問 2) 短期平均費用曲線を求めなさい。
- (問 3) 企業の操業停止価格を求めなさい。
- (問 4) 供給曲線を求めなさい。
- (問 5) 長期平均費用曲線を求めなさい。

2. 次のA, Bのうちいずれかを選択して答えよ。

2-A. 消費 : C , 国民所得 : Y , 租税 : T , 投資 : I , 純輸出 : NX , 実質為替レート : ε , とし、

消費関数 : $C = \alpha(Y - T) + C_0$

投資関数 : $I = -\beta i + I_0$

純輸出関数 : $NX = EX_0 \varepsilon - \sigma Y$

とする。ただし、 $0 < \alpha < 1, C_0 > 0, 0 < \sigma < \alpha, \beta > 0, I_0 > 0, EX_0 > 0$ である。

(問 1) IS 式と外国貿易乗数を求めなさい。

(問 2) 実質為替レートの上昇は、IS 曲線にどのような効果を及ぼすか。ただし、Marshall-Lerner 条件は満たされるものとする。

(問 3) 名目貨幣ストック : M , 物価水準 : P とし、

LM 方程式 : $\frac{M}{P} = kY + (\mu - \lambda i)$

とする。ただし、 $k, \mu, \lambda > 0$ である。

外国利子率 : r_f は所与として、均衡国民所得を求めなさい。

(問 4) このモデルの下での拡張的財政政策、拡張的金融政策の効果を調べなさい。(結果だけでなく、論拠を述べること)。

2-B. 以下の方程式で表わされる閉鎖経済を考える。

消費関数 : $C=50+0.8(Y-T)$

投資関数 : $I=74-2i$

政府支出 : $G=40$

租税 : $T=40$

貨幣需要関数 : $L=0.5Y-10i+200$

名目貨幣供給 : $M=1000$

ただし、 Y は国民所得、 i は名目利子率である。なお、物価水準 P は2で一定であると考ええる。

(問1) IS 曲線を定義し、それを求めなさい。

(問2) LM 曲線を定義し、それを求めなさい。

(問3) 均衡国民所得と均衡利子率を求めなさい。

(問4) 完全雇用国民所得が 600 であるとする。財政支出、租税を変化させずに、これを達成するにはどうすればよいか。

(問5) 他の事情は一定として、物価水準が 2 から 4 に上昇したとしよう。均衡国民所得と均衡利子率を求めなさい。

(問6) 中央銀行が景気の良し悪しに関わらず、利子率を一定として政策運営をしたらどうなるか。

(問7) 「流動性の罨」について説明をなさい。

3. 次のA, Bのうちいずれかを選択して答えよ。

3-A. 日本の「産業革命」の時期について、「産業革命」に定義を与えた上で、根拠となる歴史的事実を示しつつ論述せよ。

3-B. 戦後日本の「高度経済成長」に果たした政府の役割について、その政策に焦点を当てて論述せよ。

4. 次のA, Bのうちいずれかを選択して答えよ。

4-A. ヨーロッパ「軍事革命」が、北西ヨーロッパ地域に資本主義社会、市民社会、領土主権国民国家を成立発展させたことに果たした役割を、特に国家財政と法制度面を中心に述べよ。

4-B. 19世紀後半の北米大陸と西ヨーロッパは、スエズ運河開通に伴う汽船の就航と、海底電信によって非ヨーロッパ世界との間で大量の財、人間、情報が往来するようになった。このことが、両者の関係に如何なる影響を引き起こしたか。特に、1870年代から第一次世界大戦勃発までの北米大陸と西洋とインドから東アジアにかけての地域との関係を中心に、概観せよ。